

〈日本株〉

4月の展望 景気先行指標の改善が続き、株式市場は成長軌道に収斂へ

景気先行指標の工作機械受注の回復は続く

2月工作機械受注は前年同月比36.7%増。前月比では内需・外需とも増加し、好不調の節目とされる1000億円を上回った。中国からの受注が同4.1倍で34カ月ぶりの高水準。業種別では電子機器、自動車が牽引役となっている。

工作機械などの資本財受注は景気サイクルを生み出す設備投資動向を反映するため、景気に対する先行性や循環性が強い。過去の動きをみると、底入れ後2年半程度は回復局面が続く傾向にある。足元では昨年5月の底入れから9カ月の経過で、回復余地は大きいと思われる。

米国の長期金利上昇で世界の株式市場が動揺している。金利上昇は指数全体を崩壊させると言うよりも、特定領域の銘柄に影響すると捉えたい。経済や企業収益の成長が続く限り、株式市場も最終的には成長軌道に収斂すると考える。足元では「円安」が再現されている。1-3月にこれが起こると、4-5月に発表される本決算で会社計画が強めになる可能性がある。(3/25 田部井)

3月の銘柄・業種別騰落率(2/26→3/24)

◆東証1部騰落率ランキング
～BEST10～

コード	社名	業種	騰落率
7004	日立造	機械	31.2
6584	三菱工	輸送用機器	28.8
8303	新生銀	銀行業	26.3
7752	リコー	電気機器	24.6
1911	住友林	建設業	23.2
8358	スルガ銀	銀行業	23.2
7912	大日印	その他製品	23.0
4004	昭電工	化学	21.4
9101	郵船	海運業	21.1
9107	川崎汽	海運業	20.5

～WORST10～

コード	社名	業種	騰落率
4449	ギフト	情報・通信	-24.8
9983	ファストリ	小売業	-20.2
9603	H I S	サービス業	-15.9
4689	ZHD	情報・通信	-15.4
2413	エムスリー	サービス業	-13.4
6699	ダイヤHD	電気機器	-13.2
2489	アドウェイズ	サービス業	-12.2
4666	パーク24	不動産業	-11.7
5713	住友鋳	非鉄金属	-11.4
2371	カカクコム	サービス業	-10.9

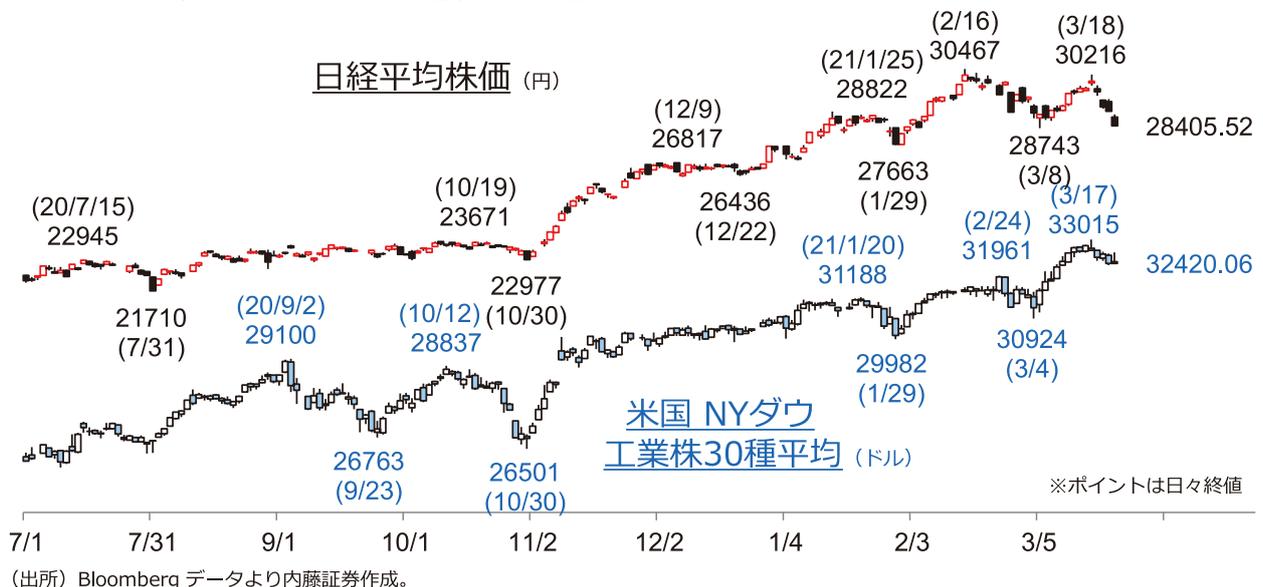
(注) 売買代金25日平均上位5分の1を対象。

(出所) Bloomberg より内藤証券作成。

◆業種別騰落率 (%)

業種	騰落率
海運	18.7
鉄鋼	11.2
電力ガス	10.9
建設	9.6
証券商品	8.8
銀行	8.5
ガラス土石	6.9
卸売業	6.1
自動車	5.7
医薬品	5.5
食料品	5.0
化学	4.7
不動産	4.1
繊維	3.5
TOPIX	3.4
機械	2.9
小売業	2.6
精密	1.9
電機	1.7
情報通信	0.7
非鉄	-0.4
陸運	-1.2
サービス	-1.7

◆日経平均株価、NYダウの推移 (日足、20年7月1日～21年3月24日)



◇ 株価が52週線を上回ってきた東証1部の小型株

(選択条件)

- ・ 21年1月以降に株価が年間平均売買コストの52週移動平均線、または昨年のコロナ安値からの戻り高値に接近、突破により株価の基調が上昇に転じつつある。
- ・ 本決算が3月期、かつ通期の売上高計画（会社計画）に対して第3四半期累計値の進捗率が75%以上。
- ・ 3月の東証1部の規模別株価指数パフォーマンスが一番良好であった小型株指数に着目（3月25日現在）。
- ・ 株式時価総額が1,500億円以下。
- ・ TOPIXスモール銘柄の中から、チャート形状などを勘案して選択。

※業績予想は変更される場合がありますのでご注意ください。

(円、百万円、%、億円)

コード	銘柄	業種	株価 (3/25)	決算期	売上高 (21.3期推計) (4-12月累計)		進捗率	時価総額
1762	高松グループ	建設	2,268	21/3	276,000	209,788	76.0	881.8
2288	丸大食	食料品	1,787	21/3	233,000	181,893	78.1	473.7
2602	日清オイリオ	食料品	3,390	21/3	320,000	251,565	78.6	1175.2
2613	Jオイル	食料品	4,175	21/3	160,000	121,998	76.2	699.5
2915	ケンコーマヨ	食料品	1,962	21/3	68,000	52,155	76.7	323.3
3178	チムニー	小売	1,368	21/3	13,200	10,985	83.2	264.6
3447	信和	金属製品	897	21/3	13,900	10,699	77.0	126.4
4318	クイック	サービス	1239	21/3	19,500	14,935	76.6	236.6
4331	T & Gニーズ	サービス	900	21/3	18,500	14,348	77.6	117.5
4917	マンダム	化学	2,077	21/3	62,700	47,937	76.5	1002.6
5288	アジアパイル	ガラス・土石	551	21/3	87,000	67,767	77.9	209.9
5933	アルインコ	金属製品	1,010	21/3	52,050	39,950	76.8	212.5
6073	アサンテ	サービス	1,832	21/3	13,762	10,822	78.6	226.2
6121	滝沢鉄	機械	1,134	21/3	15,500	11,992	77.4	74.6
6210	東洋機械	機械	486	21/3	21,600	16,736	77.5	100.6
6418	日金銭	機械	629	21/3	16,500	12,866	78.0	186.6
6419	マースGHD	機械	1,695	21/3	14,500	11,001	75.9	385.1
7867	タカラトミー	その他製品	1,050	21/3	145,000	110,515	76.2	1011.1
8242	H2Oリテイ	小売業	946	21/3	730,000	551,568	75.6	1184.4
8358	スルガ銀	銀行	453	21/3	98,000	75,520	77.1	1051.6
8386	百十四	銀行	1,809	21/3	67,000	51,637	77.1	542.7
8387	四国銀	銀行	856	21/3	39,800	30,918	77.7	367.2
8714	池田泉州HD	銀行	191	21/3	80,000	60,662	75.8	536.7
9025	鴻池運輸	陸運	1,236	21/3	289,000	219,625	76.0	703.9
9511	沖縄電	電気・ガス	1,602	21/3	189,200	147,892	78.2	912.0

(注) 業績関連数値は会社推計値。Jオイルミルズは4月1日を効力発生日とする1:2の株式分割実施。

チムニーは貸株注意喚起銘柄、テイクアンドグヴ・ニーズは売上高推計の下限値を使用。

(出所) 各企業決算短信、ニュースリリース、Bloomberg データより内藤証券作成。

(北原)

～ポイント～

- I. 特許出願件数ではトヨタがトップ
- II. NEDOでは23社共同で研究開発進む
- III. 小型全固体電池は2021年から製品への搭載がはじまる

I 特許出願件数ではトヨタがトップ

全固体電池の利点は、リチウムイオン電池と比べると、①発火リスクが低い、②急速充電が可能、③リチウムイオン電池より大きな電力を蓄えることができるという点である。構造上の違いは、電解質が固体になる。

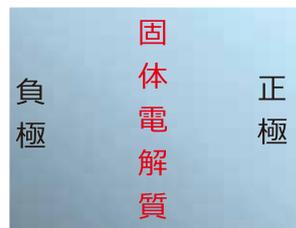
全固体電池の構造は積層になっている。この構造は積層セラミックコンデンサと似ており、村田製作所(6981)、TDK(6762)が得意とする分野である。

(図表1) リチウムイオン電池と全固体電池

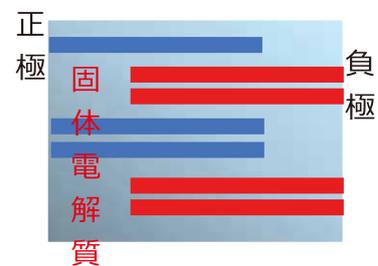
リチウムイオン電池



全固体電池



全固体電池の構造



(出所) 内藤証券作成

(図表2) 特許出願件数 (514件)

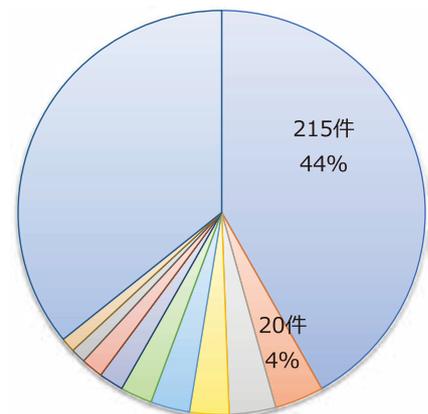
特許情報をみると、2018年から2021年3月10日までの特許出願件数は514件。

図表2に記載されている社名は出願件数の多い上場企業順に並べた。

共同出願でもトヨタ(7203)は愛知製鋼(5482)や東レエンジニアリングと出すなど目立つ存在である。

トヨタはグループ会社がパナソニック(6752)と協業していることを考えると、研究開発から製造までを手掛けることができ、EV向け全固体電池の中心企業となる可能性が高い。

- トヨタ
- 村田製作所
- FDK
- パナソニック
- 太陽誘電
- 日立造船
- TDK
- 日立製作所
- 三菱重工業
- 積水化学
- その他



(出所) 独立行政法人工業所有権情報・研修館より内藤証券作成
(注) 期間は2018年～2021年3月10日時点、共同出願は除いている

II NEDOでは23社共同で研究開発進む

2018-2022年度で全固体電池のボトルネック解消のための先進・革新蓄電池材料評価技術開発(第2期)が行われている。リチウムイオン電池での部材大手企業が全て参画しているわけではないが23社が研究開発を実施している。

図表3は参画企業のうちで、直近1年間で全固体電池の報道があった企業とその内容を記載した。

(図表3) 全固体リチウムイオン電池の研究開発参画企業

コード	社名	直近1年の全固体電池のトピックス
5019	出光興産	石油精製の時に出る副産物「硫化水素」を使い、硫化物を使った全固体電池向け電解質を開発中
5706	三井金属鉱業	固体電解質の生産・販売
5713	住友金属鉱山	全固体電池用正極材料の開発を目的とした電池研究所の拡張や設備の拡充
6752	パナソニック	トヨタと全固体電池で協業
6810	マクセルHD	コイン形の小型全固体電池の量産化にメド、21年量産開始予定、固体電解質は三井金属鉱業製と報道
6981	村田製作所	電解質が固体の全固体電池を開発、ワイヤレスイヤホンやウェアラブル端末向けを狙い、2021年3月までの量産を発表
7201	日産自動車	28年メドに自社開発の全固体電池を利用
7203	トヨタ	20年代前半の実用化を目指す業、電池の生産設備はジェイテクト(6473)が担当、豊田自動織機(6201)とも協業予定

(出所) NEDOのHP、各種報道より内藤証券作成

その他の参加企業

東レ(3402)	クラレ(3405)	旭化成(3407)
日産化学(4021)	日本触媒(4114)	三井化学(4183)
JSR(4185)	三菱ケミカルHD(4188)	富士フイルムHD(4901)
GSユアサ(6674)	ホンダ(7267)	ヤマハ発動機(7272)
凸版印刷(7911)	大日本印刷(7912)	日立オートモティブシステムズ

III 小型全固体電池は2021年から製品への搭載がはじまる

2020年12月にはFDK(6955)が小型全固体電池の生産を開始。2021年は村田製作所(6981)とマクセルHD(6810)が小型の全固体電池量産を開始する見通し。2021年からスマートウォッチなどのウェアラブル製品に搭載されるだろう。全固体電池は、大型化してスマホに展開する頃には、スマホの形状も変化するだろう。5Gの普及に合わせて電子機器類に大きな変化が訪れそうだ。(高橋)

IPO

初値は好調、その後は人気次第

◆直近新規公開銘柄一覧（21年3月29日現在、21年1月4日以降公開分）

(円)

	コード	銘柄	公開市場	公開価格(決定日)	初値	その後の 高値	その後の 安値	事業内容	主幹事
2/5	6613	QDレーザ	MT	340	797	2,070	770	通信・加工・計測用半導体レーザ、視覚補助UI	SMBC日興
2/10	2983	アールプランナー	MT	2,210	5,000	6,000	2,711	中京圏地盤の注文住宅請負、分譲住宅販売	野村
2/18	4936	アクシージア	MT	1,450	2,051	2,440	1,357	スキンケア化粧品・サプリメント、中国向け約9割	大和
2/19	4173	WACUL	MT	1,050	4,645	4,780	2,475	PDCAデジタルマーケティング支援ソフト、DXコンサル	みずほ
2/25	4174	アピリッツ	JQS	1,180	5,600	7,680	3,800	オンラインゲーム開発、Webシステム開発・EC構築	みずほ
2/26	4175	coly	MT	4,130	8,450	9,890	5,200	女性向けモバイルオンラインゲームの企画・開発	みずほ
2/26	4885	室町ケミカル	JQS	820	1,424	2,045	1,158	医薬品原薬他、イソ交換樹脂、健康食品等	野村
3/16	4432	ウイングアーク1st	T1	1,590	2,000	2,167	1,840	企業の情報活用を促進する帳票・BIソフト	野村三菱UFJ
3/16	7361	ヒューマンクリエイションHD	MT	2,120	3,505	3,530	2,315	システム開発・保守を行う技術者派遣に特化	SMBC日興
3/18	4177	いーぷラグ	MT	2,620	6,000	6,370	4,120	登録学生に直接採用が可能なサイト運営	大和
3/19	4176	ココナラ	MT	1,200	2,300	2,899	2,001	知識・スキル・経験を出品購入できるPF運営	大和みずほCS
3/19	7362	T. S. I	MT	2,000	4,000	4,035	2,653	サービス付高齢者住宅運営・建設、訪問介護	野村
3/24	4178	Sharing Innovations	MT	2,850	4,650	4,990	3,210	クラウド導入、Webシステム開発などDX支援	SBI
3/24	6614	シキノハイテック	JQS	390	1,221	1,799	1,050	半導体検査装置、LSI設計、カメラモジュール開発	みずほ
3/25	4179	ジーネクスト	MT	1,230	2,851	3,145	2,110	顧客対応ソフト「Discoveriez」の開発・提供	SMBC日興
3/25	7363	ベビーカレンダー	MT	4,200	9,400	10,700	8,000	妊娠・出産・育児向け情報、産科経営支援	SBI
3/26	7343	ブロードマインド	MT	810	1,566	1,628	1,263	保険商品、金融商品、住宅ローン等をウェブサイト上で	みずほ
3/26	9327	イー・ロジック	JQS	1,500	1,995	2,075	1,692	ネット通販業者の物流代行、物流業務支援	いちよし
3/30	4192	スパイダープラス	MT	1,160	-	-	-	建設業対象の図面・現場管理アプリ開発	野村
3/30	4180	Appier Group	MT	1,600	-	-	-	AI販促・顧客関係向上支援、開発拠点は台湾	日興みずほBofA
4/5	6521	オキサイド	MT	2,800	-	-	-	単結晶、デバイス、レーザなど光関連開発	野村
4/6	7367	セルム	JQS	1,280	-	-	-	人材開発・組織開発コンサル、企業内研修	野村
4/7	7368	表示灯	T2	2,000	-	-	-	各駅周辺案内図・交通・屋外広告代理店	野村
4/7	4193	ファブリカコミュニケーションズ	JQS、M2	3/30	-	-	-	中古車販売、SMS配信等ネットで業務支援	東海東京
4/8	7698	アイスコ	JQS	3/30	-	-	-	アイスクリーム・冷食卸、食品スーパー・TAIGA運営	野村
4/13	2933	紀文食品	T1	3/31	-	-	-	水産練り製品、惣菜、水産珍味等の製造	みずほ
4/15	4498	サイバートラスト	MT	4/6	-	-	-	電子認証・セキュリティ、IoT、Linux関連サービス	みずほ
4/22	4194	ビジョナル	MT	4/12	-	-	-	プロ人材特化の会員制転職プラットフォーム	野村・三菱UFJ
4/22	4196	ネオマーケティング	JQS	4/13	-	-	-	生産者起点のリーチによるマーケティング支援	いちよし
4/22	4888	ステラファーマ	MT	4/13	-	-	-	がん治療法BNCT向け医薬品、4109子会社	みずほ
4/23	4195	ディマージシエア	MT	4/15	-	-	-	DXの構想・開発・運用一括支援、クラウドサービス	SMBC日興
4/27	5074	テスHD	T1	4/19	-	-	-	再生可能エネルギー発電所の開発・売電、省エネ・環境対策	大和

(注) T1は東証1部、T2は同2部、M2は名証2部、MTはマザーズ、JQSはジャスダック・スタンダード。東証プロマーケット、リートを除く。
室町ケミカル、ヒューマンクリエイションHD、シキノハイテックは日々公表銘柄。(出所) Bloombergデータ、各社HPより内藤証券作成。

◆新興市場指数等のレシオケータ

(TOPIX=100、18年1月～)



(出所) Bloomberg データより内藤証券作成。

◆過去3カ月間「上昇率上位」(公開後2年以内)

(20/12/30～21/3/24)

(%)

コード	社名	業種	市場	騰落率
7078	INCLUSIVE	サービス業	マザーズ	512.9
7695	交換できるくん	小売業	マザーズ	71.9
6613	QDレーザ	電気機器	マザーズ	71.4
7358	ポピンズHD	サービス業	1部	57.1
7061	日本ホスピスHD	サービス業	マザーズ	51.8
5690	リバーHD	鉄鋼	2部	49.1
7087	ウイルテック	サービス業	2部	46.5
7062	フレアス	サービス業	マザーズ	45.1
7352	B Engineer	サービス業	マザーズ	43.2
4443	Sansan	情報・通信	1部	41.6

(注) 経営統合、持株会社化による再上場、東証プロマーケットを除く。

3カ月前の月末より後の新規上場銘柄は初値からの上昇率。

(出所) Bloomberg データより内藤証券作成。

4月の
スケジュール

新型コロナのワクチン普及と経済活動の正常化に期待

日付	曜日	国内			海外		
		時間	指標・イベント名称	対象期	時間	地域 指標・イベント名称	対象期
1	木	8:50	日銀短観	1-3月	10:45	中国 財新製造業PMI	3月
					23:00	米国 ISM製造業景気指数	3月
2	金	8:50	マネタリーベース	3月	21:30	米国 雇用統計	3月
						米国・香港など グッド・フライデー	
5	月				23:00	米国 ISM非製造業景気指数	3月
						中国など 清明節	
						香港など イースター・マンデー	
6	火					香港など イースター・マンデーの翌日	
7	水	14:00	景気動向指数	2月	21:30	米国 貿易収支	2月
						G20財務相・中央銀行総裁会合	
8	木	8:50	経常収支	2月	3:00	米国 FOMC議事録 (3/16-17分)	
		15:00	景気ウォッチャー調査	3月			
9	金				10:30	中国 消費者物価指数	3月
					21:30	米国 生産者物価指数 (PPI)	3月
						IMF・世界銀行春季総会 (~11日)	
12	月	15:00	工作機械受注 (速報値)	3月			
13	火					中国 貿易収支	3月
					21:30	米国 消費者物価指数 (CPI)	3月
14	水	8:50	機械受注	2月			
15	木				3:00	米国 地区連銀経済報告	
					21:30	米国 小売売上高	3月
					22:15	米国 鉱工業生産指数	3月
16	金				11:00	中国 工業生産指数	3月
					11:00	中国 小売売上高	3月
					11:00	中国 固定資産投資	3月
					11:00	中国 GDP	1-3月
					21:30	米国 住宅着工件数	3月
19	月	8:50	貿易収支	3月			
20	火						
21	水						
22	木				20:45	ユーロ圏 ECB政策理事会	
					23:00	米国 中古住宅販売	3月
						世界気候サミット	
23	金	8:30	全国消費者物価指数 (CPI)	3月	23:00	米国 新築住宅販売	3月
26	月		日銀金融政策決定会合 (~27日)		21:30	米国 耐久財受注	3月
27	火		日銀総裁定例会見				
28	水						
29	木		昭和の日		3:00	米国 FOMC結果発表	
					21:30	米国 GDP (速報値)	1-3月
30	金	8:30	有効求人倍率	3月	10:00	中国 国家統計局製造業PMI	4月
		8:30	都区部消費者物価指数 (CPI)	4月	18:00	ユーロ圏 GDP (速報値)	1-3月
		8:50	鉱工業生産指数 (速報値)	3月	21:30	米国 個人消費支出・個人所得	3月

(注) 赤字は注目指標、緑字は中国関連指標、青字は休場、時間は日本時間。